

1. パークレンジャーの誕生の経緯

1978年(S53年) 府民の森の誕生 利用開始

1989年～1990年(S64年～H2年): キャンプ場や施設の拡充・整備
当時みどり公社がキャンプイベントを実施したり
外部に依頼して色々な自然のイベントを実施

府民の森の利用者が100万人を超えるようになり、園地利用促進だけでなく自然公園の存在の意味を利用者に分かりやすく伝える活動が求められるようになった → インタープリテーションが必要

→ 府民の森の自然と利用者をつなぐパイプ役として
人と自然が仲良くなれるような様々な自然の催しを運営・指導
するボランティア

1993年 みどり公社にパークレンジャーが誕生

伝える活動 → 自然を知ってもらい自然を大切にする人になってもらう

2. 一期生の募集(1993/4/20～5/20)

活動:

- ①府民の森で年間10回程度開催される**イベントの参加者の指導**
- ②なるかわ園地森のレストハウスで開催される**自然観察会の運営補助**
- ③**自然情報の収集及び自然情報誌の編集作業**
- ④府民の森内の**標識設置、補修等の軽作業**

研修:

- ①年間6回程度府民の森を中心とした**フィールドワーク**
- ②年間6回程度の**自然、環境、野外活動、レクリエーション等の座講**
- ③その他必要に応じて他団体が主催する**研修会**に参加

募集条件:

- ①18才～20才半ばまでの男女
- ②自然活動に十分な理解と熱意のあること
- ③年間を通じて行事や研修に参加できること

一期生: 25名の若者が採用されて研修とフィールドワークを開始した

3. パークレンジャーの歩み

1993年	(H5)	(財)大阪府緑化・環境協会内に若者25人のボランティア組織 府民の森パークレンジャーが発足
1994年	(H6)	人と自然をつなぐパイプ役として様々な自然の催し活動を開始した
1996年	(H8)	むろいけ園地でガイドウォーク(自然解説)をするようになった
2000年	(H12)	広く人材を求めるため年齢制限を廃止(18~70才)
2003年	(H15)	園地班を作り催し企画から実施まで自主運営するようになった
2006年	(H18)	森林整備班を作り森林整備活動を始めた
2007年	(H19)	人材育成のためパークレンジャー養成基礎研修を始めた
2011年	(H23)	NPO法人日本パークレンジャー協会が発足
2013年	(H25)	林野庁のさともり事業に応募しくろんど園地で里山保全活動を始めた
2016年	(H28)	東京海上日動保険(株)のGreen Gift 地球元気プログラムを受託した
2017年	(H29)	環境調査部を作り府民の森で生きもの調査活動を始めた
2022年	(R4)	府民の森パークレンジャーが30周年になった 自然や環境分野で幅広く活動している

4. パークレンジャーの役割

自然の大切さを伝える=自然のことを分かり易く伝える

1. 色々な自然があること(色々な生きものがある)を知ってもらう
2. 自然と自然(生きものと生きもの)のつながりを知ってもらう
3. 自然の役割を(自然の恩恵)を知ってもらう
4. 自ら自然を知り(学び)伝える体験を深める
5. 活動を通じて自然を大切にしている行動をする人になってもらう

イベントは自然を知ってもらう手段 (イベントが目的にならないようにする)